

# 県民の生涯学習需要調査

## 調査結果

1	調査の概要	1
2	調査の結果	3
3	考察	17
※	参考資料 「調査票」	19

令和5年10月

さわやかちば県民プラザ

## 1 調査の概要

### (1) 調査目的

県民の生涯学習に関する状況及び需要を継続的に調査することで、本県の生涯学習推進施策の方向性の参考とするとともに、結果を県関係機関や市町村等に提供することで、地域における生涯学習の推進に寄与することを目的とする。

### (2) 調査対象

一般県民（調査協力員400名を募集）

### (3) 調査時期

令和5年8月1日（火）から8月20日（日）

### (4) 調査方法

インターネットを利用したアンケート

### (5) 調査項目

- ①県民の生涯学習の状況
- ②県民の生涯学習需要
- ③その他

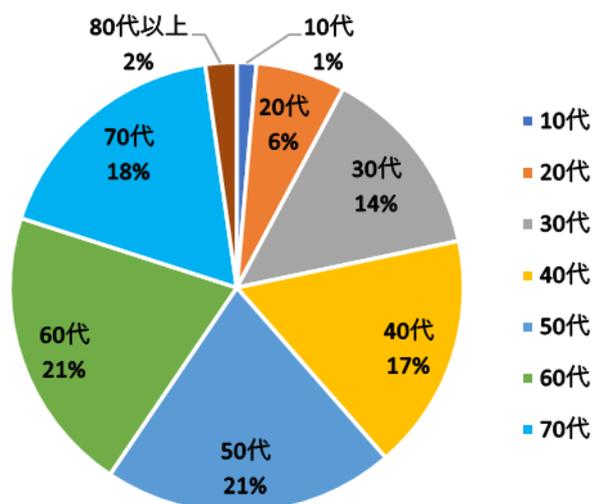
### (6) 回答結果

360名（90%）

### (7) 回答者状況

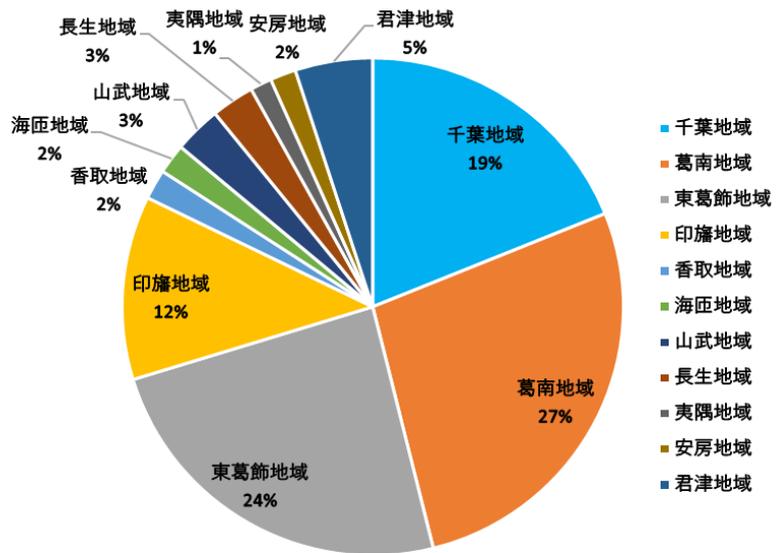
○年代

回答	回答数	割合
10代	5	1%
20代	23	6%
30代	50	14%
40代	61	17%
50代	75	21%
60代	74	21%
70代	64	18%
80代以上	8	2%
合計	360	100%



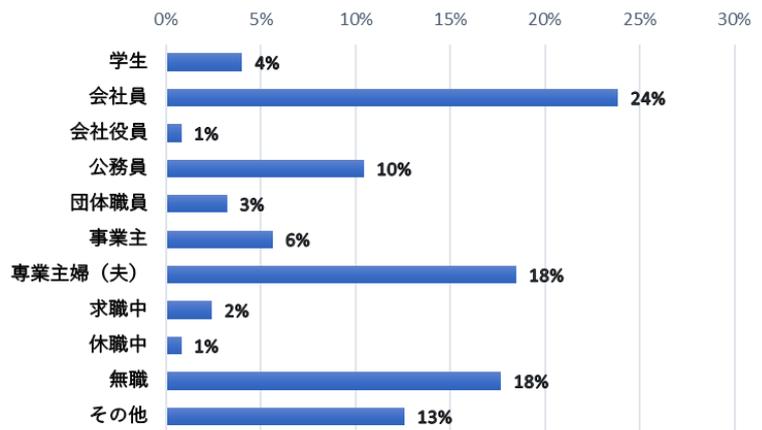
○居住地域

回答	回答数	割合
千葉地域	68	19%
葛南地域	98	27%
東葛飾地域	87	24%
印旛地域	43	12%
香取地域	7	2%
海匝地域	7	2%
山武地域	11	3%
長生地域	10	3%
夷隅地域	5	1%
安房地域	6	2%
君津地域	18	5%
合計	360	100%



○属性（複数回答可）

回答	回答数	割合
学生	15	4%
会社員	89	24%
会社役員	3	1%
公務員	39	10%
団体職員	12	3%
事業主	21	6%
専業主婦（夫）	69	18%
求職中	9	2%
休職中	3	1%
無職	66	18%
その他	47	13%
合計	373	100%



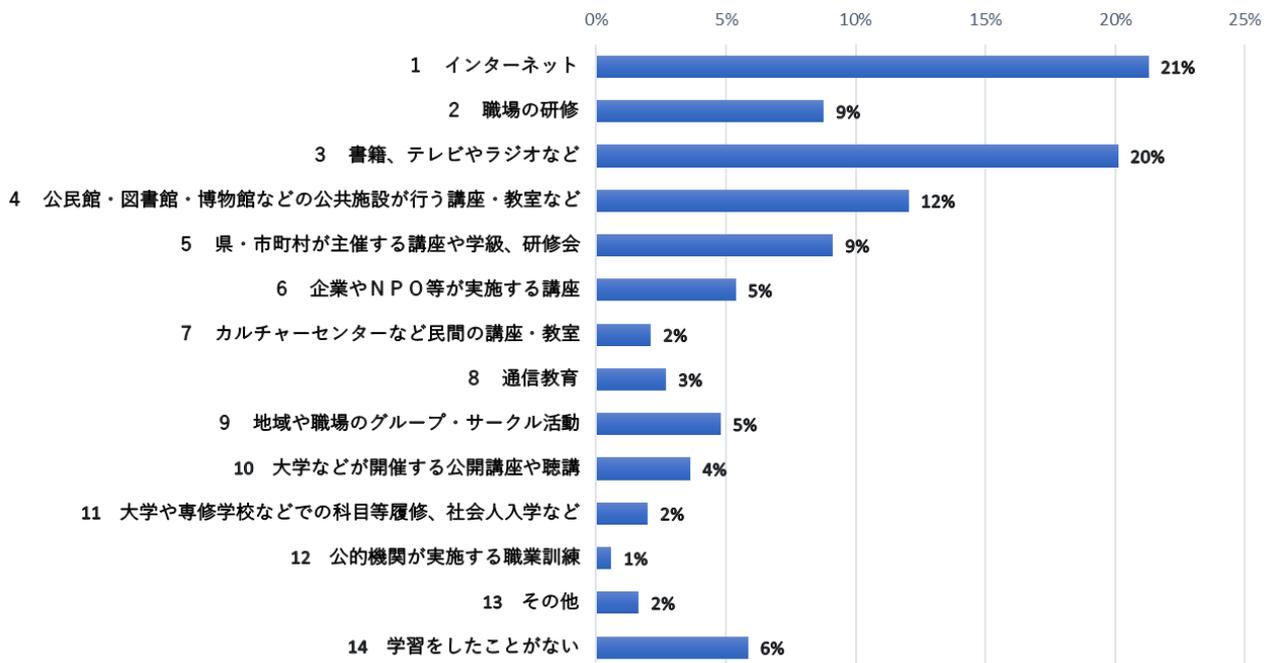
(8) 調査結果の数値について

百分率(%)は小数点以下を四捨五入しているため、表及びグラフの合計が100%とならない場合があります。

## 2 調査の結果

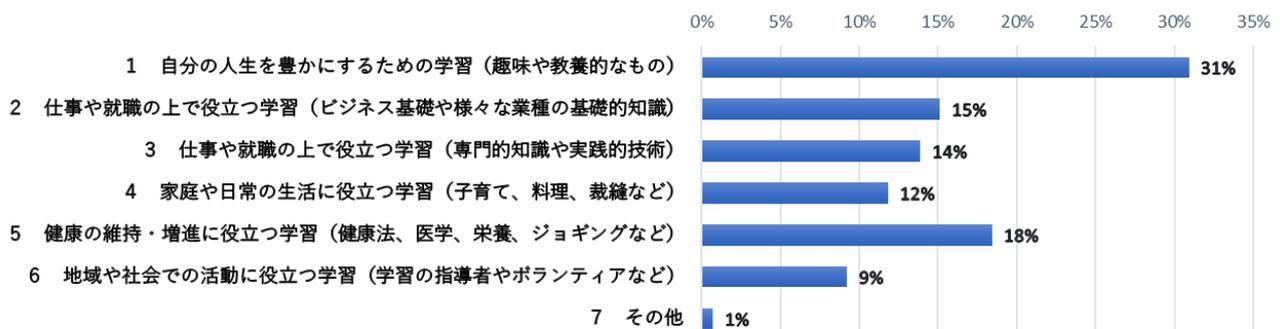
Q1 この1年間に、どのような場所や形態で生涯学習をしたことがありますか。(複数選択可)

【回答数：855】



Q2 Q1で(1~13)と答えた方は、この1年間に行った生涯学習はどれですか。(複数回答可)

【回答数：728】

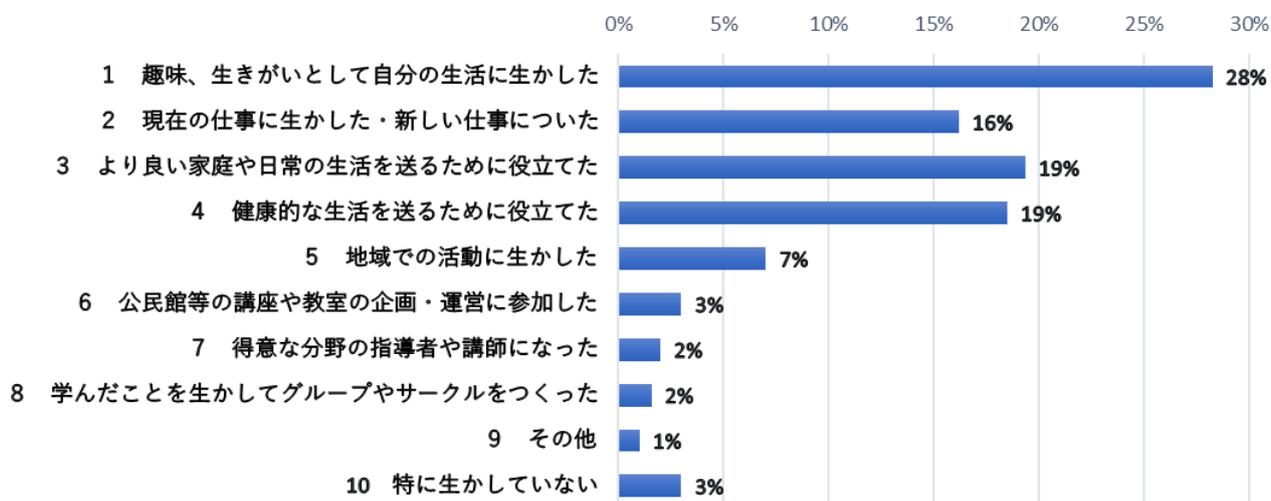


### ○「7 その他」の記述

- ・公務員を退職してから、中国の西安交通大学、重慶大学、四川外国語大学、長江師範大学などの各校で教員をしていましたが、日本へ帰国してからは町内や船橋市内の公民館などで迎賓館での接遇、水俣病、日航機の墜落、整備新幹線、北方領土返還などの問題について今までに経験したことを話していました。
- ・放送大学で心理学を履修し、3月に卒業しました。
- ・労働法について。
- ・投資について。
- ・資産運用に役立つ学習。

Q3 Q1で(1~13)と答えた方は、これまでの生涯学習を通じて学んだ知識や技能、経験を、この1年間でどのように生かしましたか。(複数回答可)

【回答数：697】

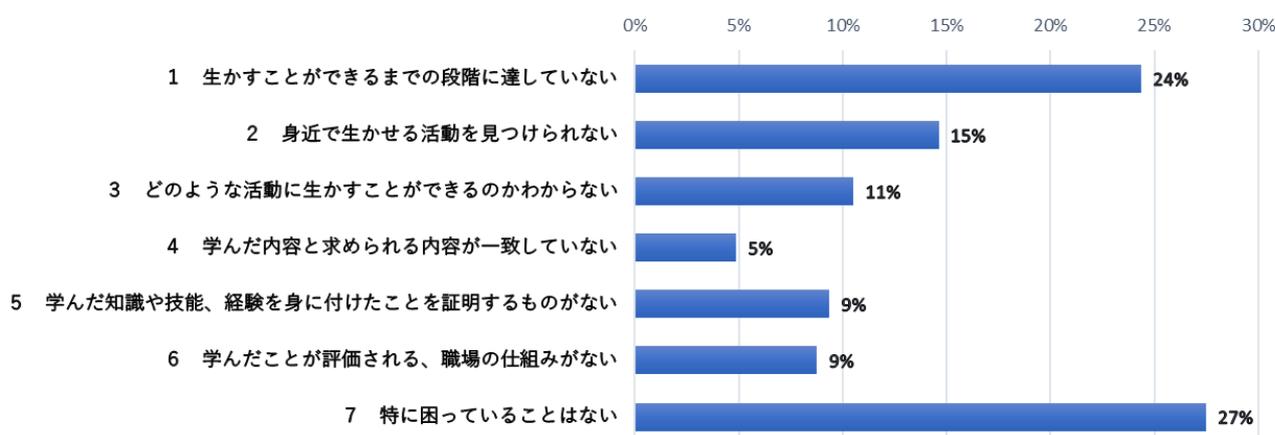


○「9 その他」の記述

- ・通信教育を継続中です。
- ・若い方たちの参考になったと思っています。
- ・就職はできていないが、求職の申し込みをする上で、個別面談で教えていただいたことを生かした。
- ・介護福祉士になるべく、勉強中(実務者研修が必修だった)。
- ・夫の介護をしながらでしたので、介護に関する科目も受講しました。社会的支援の内容を知り、援助のありがたさを感じました。
- ・労働条件をよくするために生かした。
- ・博物館における解説ボランティア(小6対象)。
- ・非日常感、気分転換。

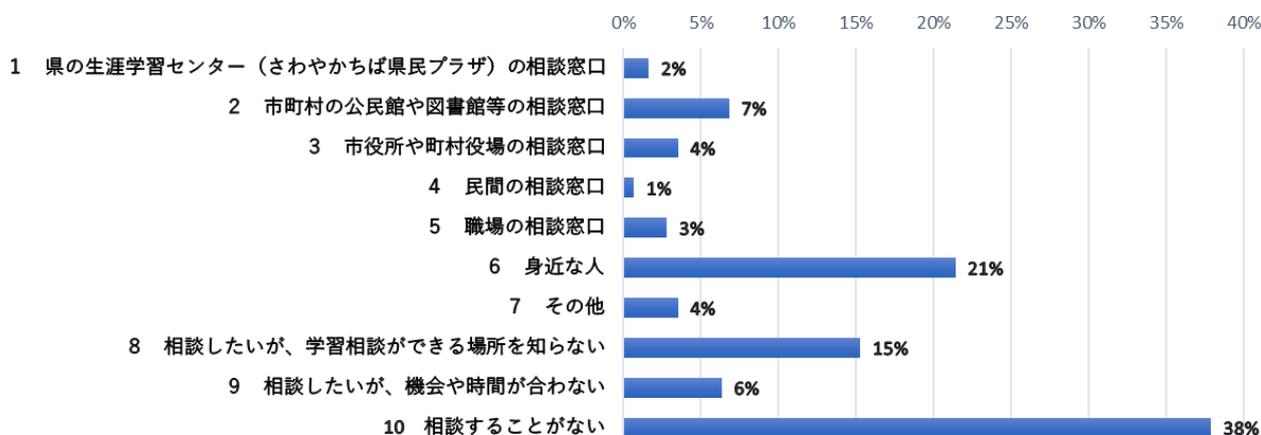
Q4 これまでの生涯学習を通じて学んだ知識や技能、経験を生かす上で困っていることはなんですか。(複数回答可)

【回答数：513】



Q5 自分の希望に合う生涯学習やそれを生かす機会を見つけるために、どこで生涯学習に関する相談をしていますか。(複数回答可)

【回答数：425】



○「4 民間の相談窓口」の記述

- ・ネット系の相談窓口→具体的にはアート・ナビゲータ（学芸員資格取得済）の能力を活かせる職場を探したい（ボランティアでも非常勤職員でも構わない）。
- ・市と当該テーマに関わり合いのある一般企業。
- ・早稲田エクステンションセンター（早稲田大学の生涯学習機関）の会員なので、講座の中から選択している。

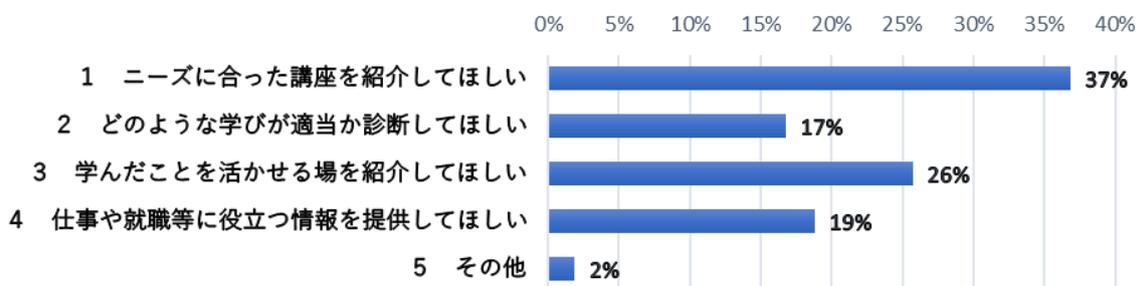
○「7 その他」の記述

- ・公共職業安定所（相談窓口）。
- ・市や県の広報誌。

- ・ 千葉市生涯現役応援センター。
- ・ 政治家(当該テーマについて熱心な活動をされている地方議員の方々)。
- ・ 特に相談まではしていないが、県、市、大学、民間(新聞社、カルチャーセンター)等の広報誌やインターネット等でいろいろな情報を収集している。
- ・ 企業が実施する講座の教師に相談。
- ・ WEB で検索する。
- ・ 放送大学に認定心理士など資格取得の条件などを照会しました。当初、大学卒業を目的としていましたので、詳細を把握できておらず、残念です。
- ・ Yahoo!知恵袋などのインターネット
- ・ 千葉市あんしんケアセンター。
- ・ 自らも、生涯学習コーディネーターの認定資格を取得したが、相談者としての力を発揮できる機会、場が無い。
- ・ インターネット、市町村の広報誌。
- ・ 通信教育生として面接授業の期間中は学習センター・図書館等で、同公認サークルの活動で通じた知友等と。

#### Q 6 学びに関する相談窓口に期待することはどんなことですか。(複数選択可)

【回答数：638】

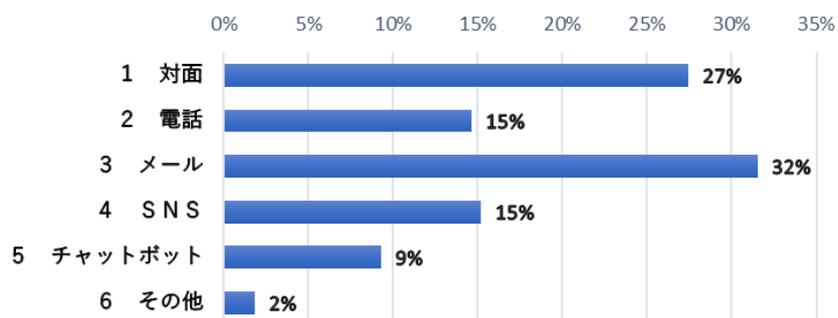


#### ○「5 その他」の記述

- ・ 講座を進めるに際して、市民の希望する課題や会場の確保が難しいです。
- ・ 転勤、子育て、介護の約 30 年は目まぐるしく多忙で、今は主にボランティア活動。仕事については特に考えていない。生涯学習は必要だと改めて気付きました。
- ・ 資格をとるにもお金がかかる。また、その為に休みをとらなければならない為、給料に影響してしまう。なかなか踏み出せない。
- ・ 自分で調べたり探したりするので必要がない。
- ・ 無料で行って欲しい。
- ・ 相談場所を告知或いは、知る方法を告知して欲しい。
- ・ 田舎で働いてる世代が利用できる相談窓口が欲しい。転職に繋がるスキルを学びたい。休日を充実させたい。

Q7 学びに関して、どのような方法で相談したいですか。(複数選択可)

【回答数：710】

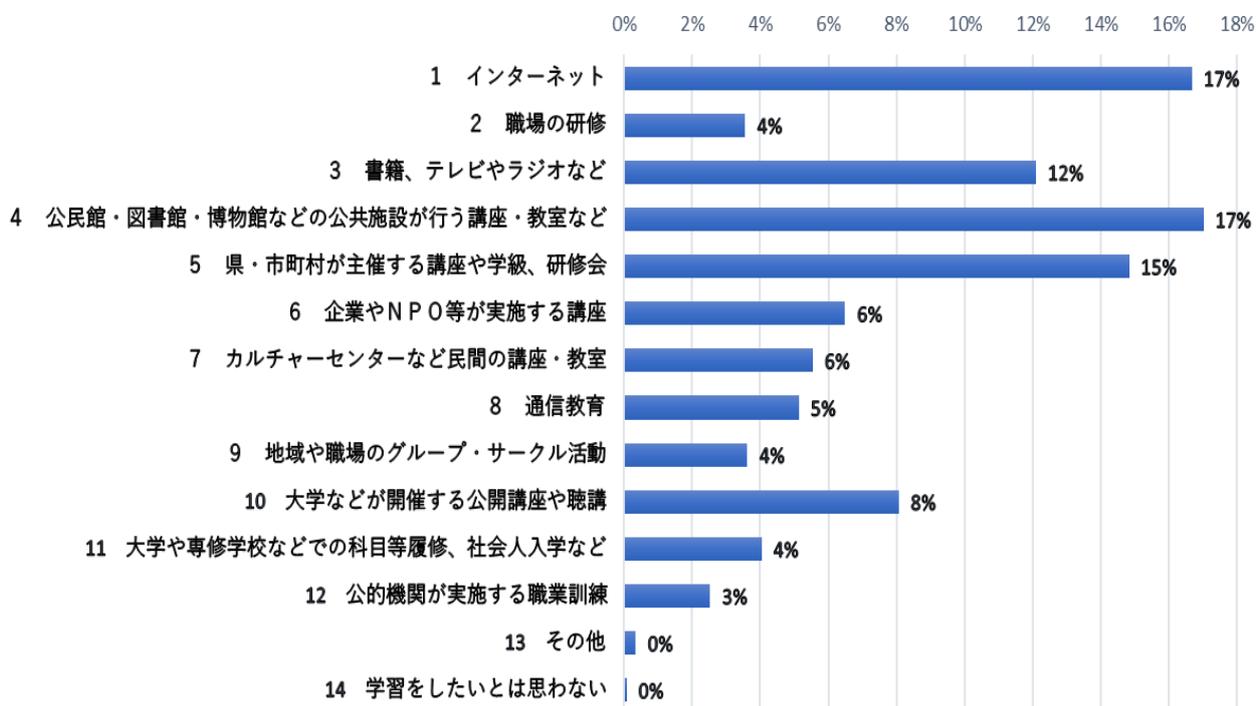


○「6 その他」の記述

- ・相談しないで自分で決めればよい。
- ・zoomなどのオンライン。
- ・チャットボットだと一般的な内容しかこないなのでAIが判定した上で適切な場所に相談できることがあれば相談したい。
- ・市の広報紙。
- ・インターネットのホームページなど、公開情報で閲覧できること。
- ・ビデオ通話等。
- ・資料を郵送等で事前入手。
- ・GoogleFormのような形式のもの。
- ・人に相談する気はない。

Q8 今後、どのような場所や形態で生涯学習をしたいですか。(複数選択可)

【回答数：1463】

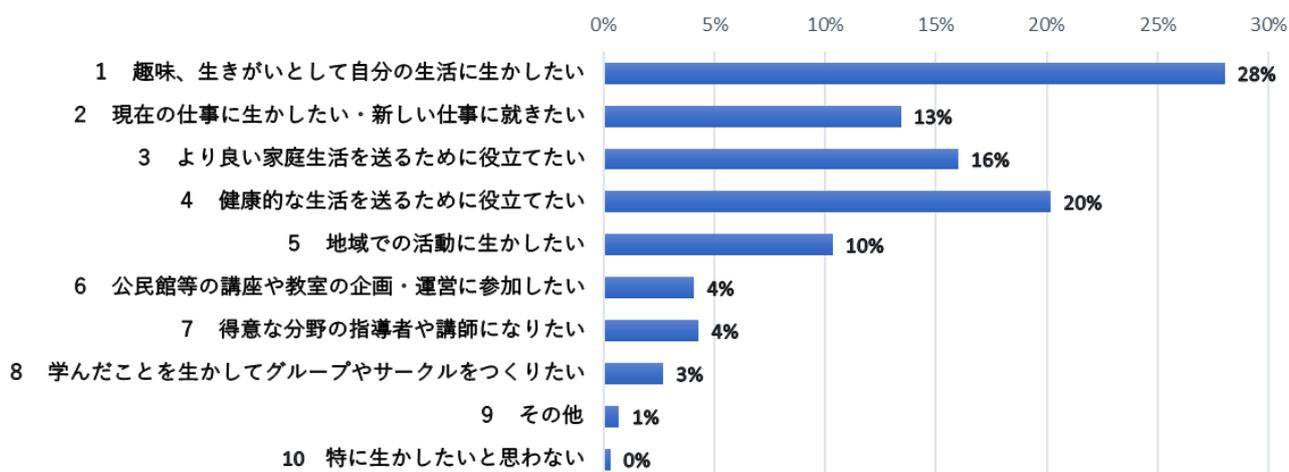


○「13 その他」の記述

- ・市や県を単位とする公的機関や地域団体の協力があればと思っています。
- ・県主催はどうしても千葉市方面が多く、1日かかりの時間的ゆとりはなく近隣での開催を希望します。
- ・空港や鉄道、工場などの見学イベント的な講座。
- ・学習をしたいけど子育て中の兼業主婦は時間もコストも自分にはかけられないと痛感しております。学生の時や独身の時には興味がなかったので仕方ありませんが少し後悔しております。
- ・YouTube。

Q9 今後、これまでの生涯学習を通じて学んだ知識や技能、経験を、どのように生かしたいですか。(複数回答可)

【回答数：1006】

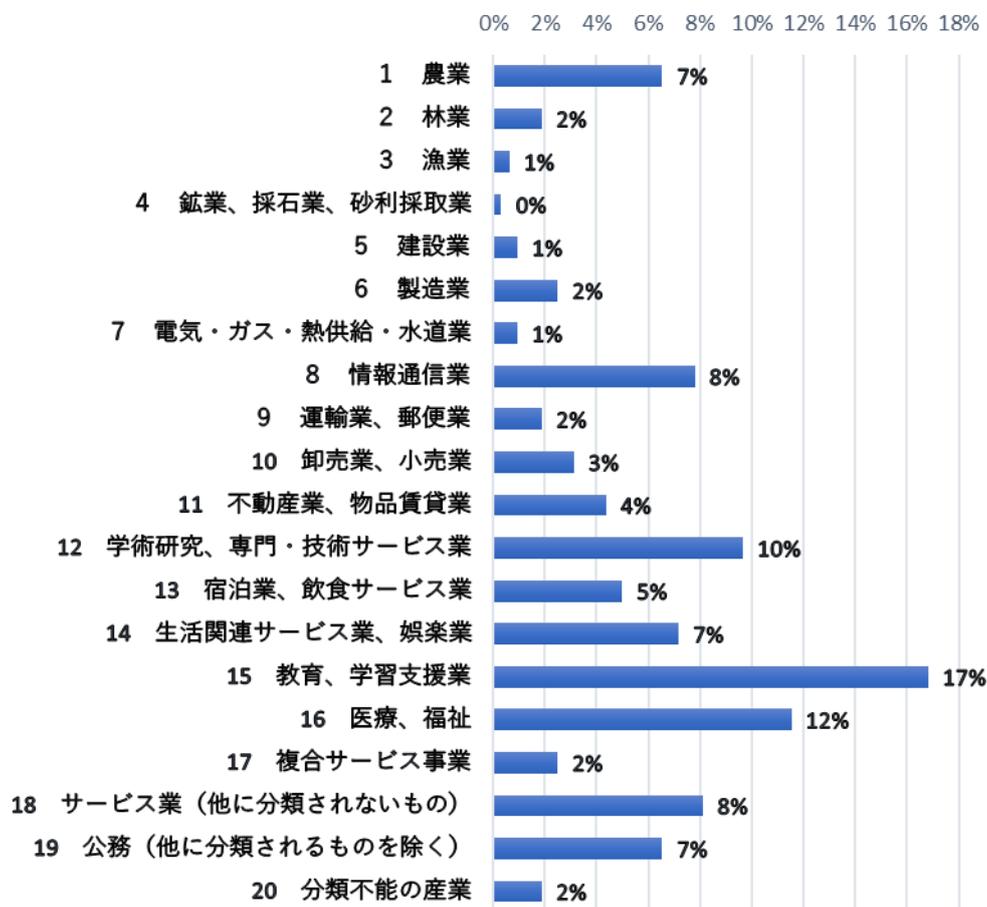


○「9 その他」の記述

- ・日本美術・文化の素晴らしさを外国人（観光客のみならず長期滞在外国人技能実習生等を含む）へ啓発したい。
- ・今後自分が社会にでるとき、また、就職活動する際の強みの材料の1つになればいい。
- ・地域コミュニティ創設。
- ・これまで生涯学習を受けたことがないので、どのように生かしたいかと問われても回答に困るだけでなく、1～10に選択肢がないため、やむなく9を選びました。
- ・YouTubeで発信。
- ・労働者として生かしたい。
- ・Q3で答えた活動を続けていければよい。

Q10 Q9で「2.現在の仕事に生かしたい・新しい仕事に就きたい」と答えた方は、どの業種に関する学習に興味がありますか。(複数回答可)

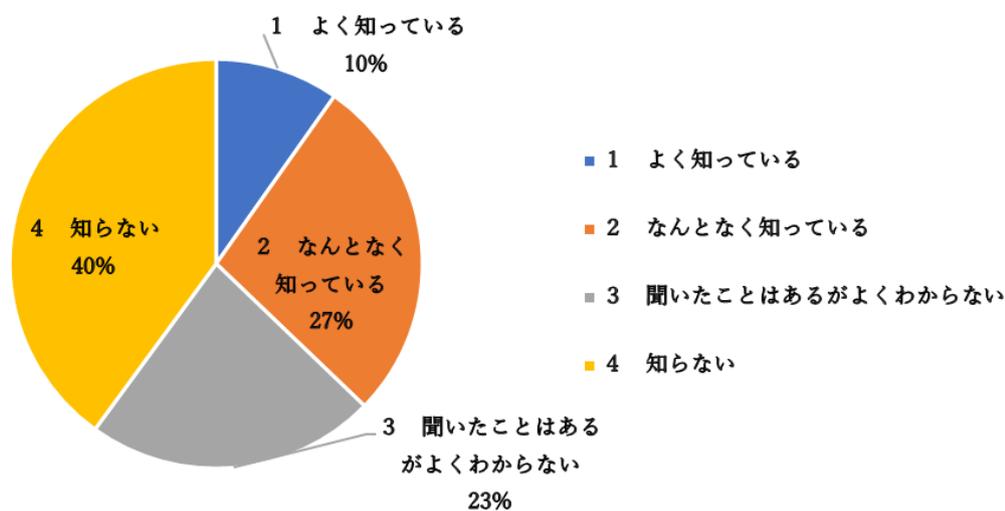
【回答数：321】



Q11 「リカレント教育」という言葉を知っていますか。

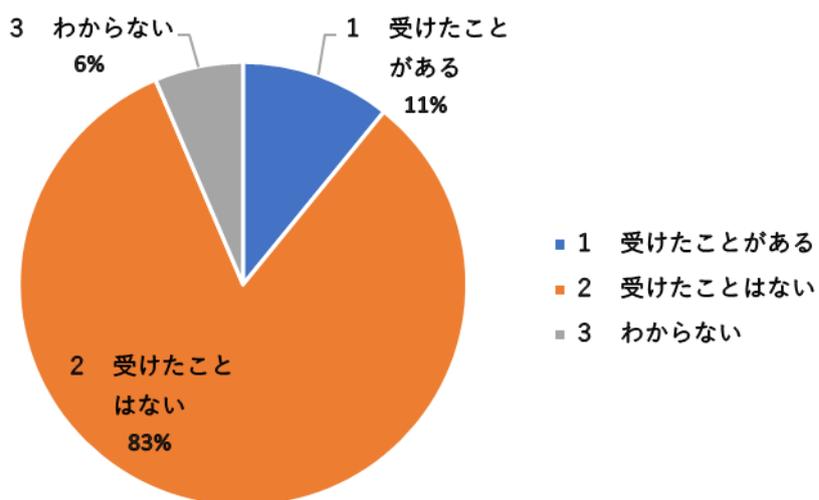
※リカレント教育・・・学校教育からいったん離れて社会に出た後も、それぞれの人の必要なタイミングで再び教育を受け、仕事と学習を繰り返すこと。ここでは、「職業につながる学び」とします。

【回答数：360】



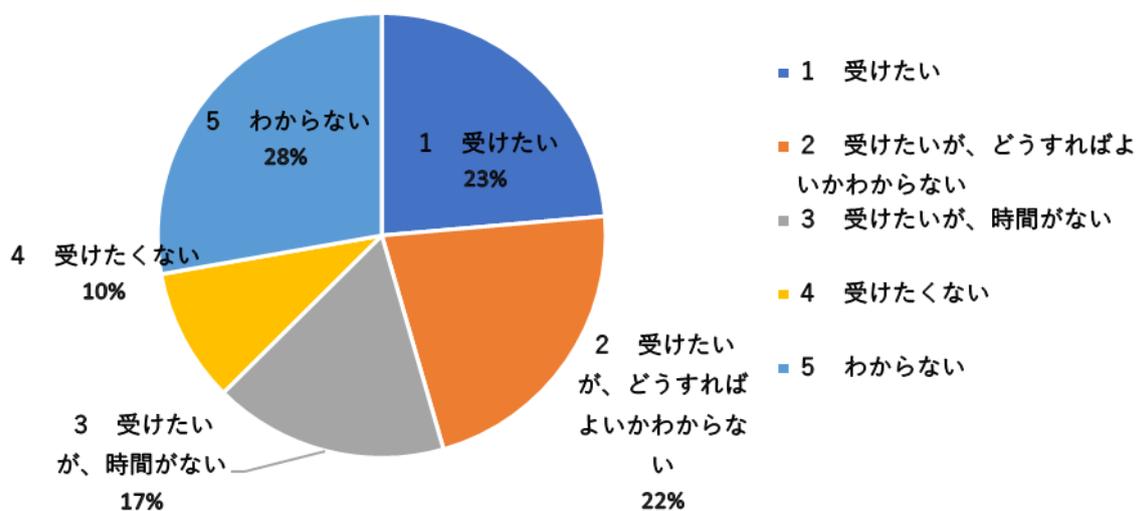
Q12 「リカレント教育」として、講座・研修などを受けたことがありますか。

【回答数：360】



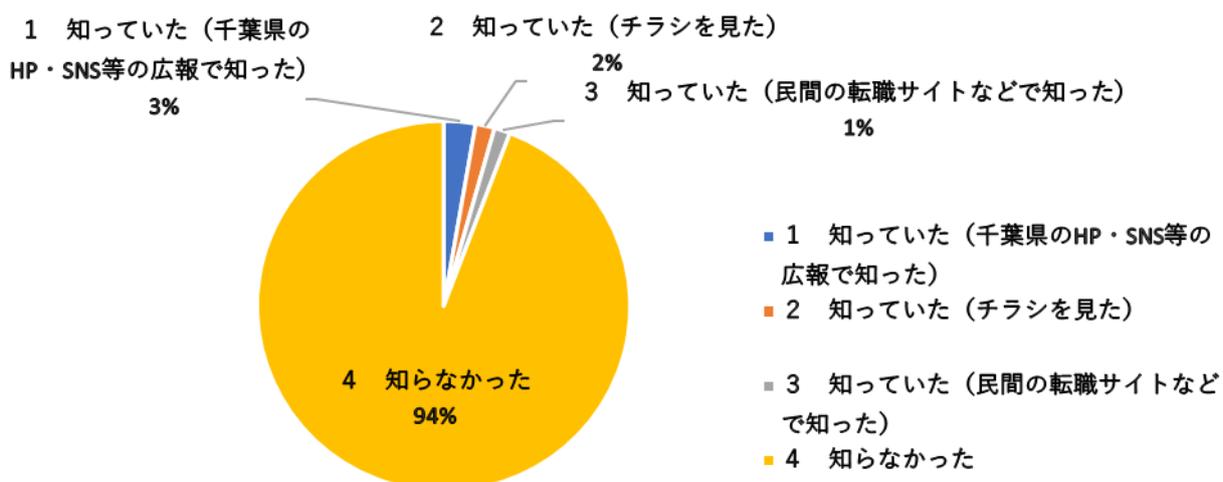
Q13 「リカレント教育」の講座・研修などを受けたいですか。

【回答数：360】



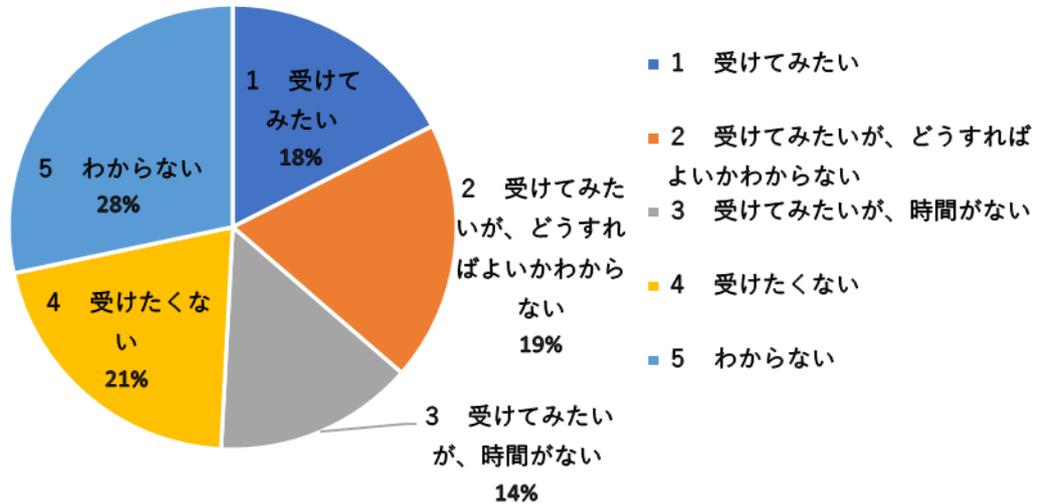
Q14 県教育委員会では、社会に求められる産業人材の育成につなげるため、生涯にわたり必要な知識を学び直すためのリカレント講座（社会人のための学び直しセミナー&個別学習相談会）を、令和5年7月に開催しましたが、知っていましたか。（複数回答可）

【回答数：360】



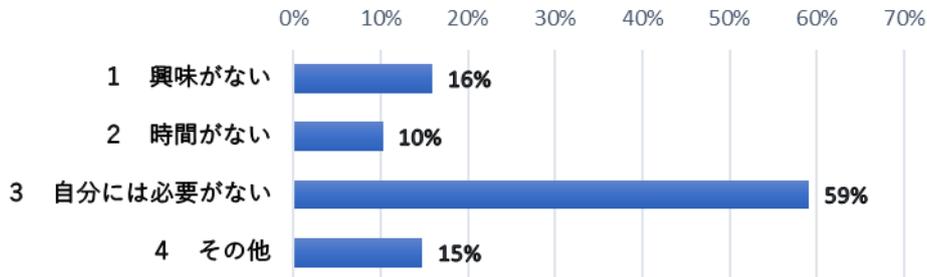
Q15 仕事や就職等につながる学びについて、専門家に個別の学習相談（無料）を受けてみたいですか。

【回答数：360】



Q16 Q15で「4 受けたくない」を回答した方に伺います。その理由はなんですか。(複数回答可)

【回答数：88】

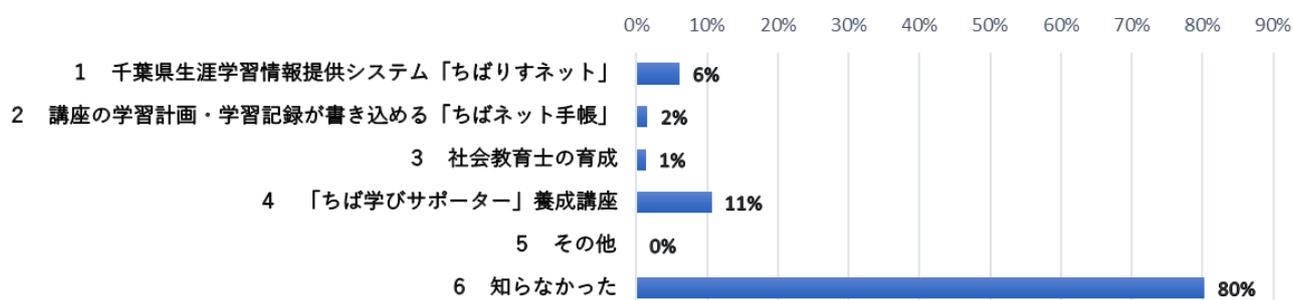


○「4 その他」の記述

- ・自己啓発として IT スキルの向上は図りたいが、再就職を目的とした学びは考えていない。なお、主旨は異なるが、体力の維持・増進を図る為のリハビリ講習などであれば参加したい。
- ・後期高齢になるので、これから就職は考えられない。
- ・職場(銀行業)で研修や講義が行われているため。
- ・3になるかもしれないが、自分に必要だと思われることは、通信教育や、各種講座などを自分で見つけるから。
- ・被相談者のレベルが事前に把握できるようなシステム／機会が充分ではないと思われる。
- ・もし自分が30代～40代であれば受ける価値があると思う。現在仕事を早期退職したので、仕事や就職のためではなく、生活を充実させるための学習やボランティアを考えています。
- ・今後仕事に就く予定がないので仕事、就職に関しては必要ありません。ただ自分自身、興味がある事柄については、更に学習したいと思っています。

Q17 県教育委員会では、県民の生涯学習を盛んにするための施策を展開しています。次の取組のうち、知っているものを回答してください。(複数回答可)

【回答数：376】



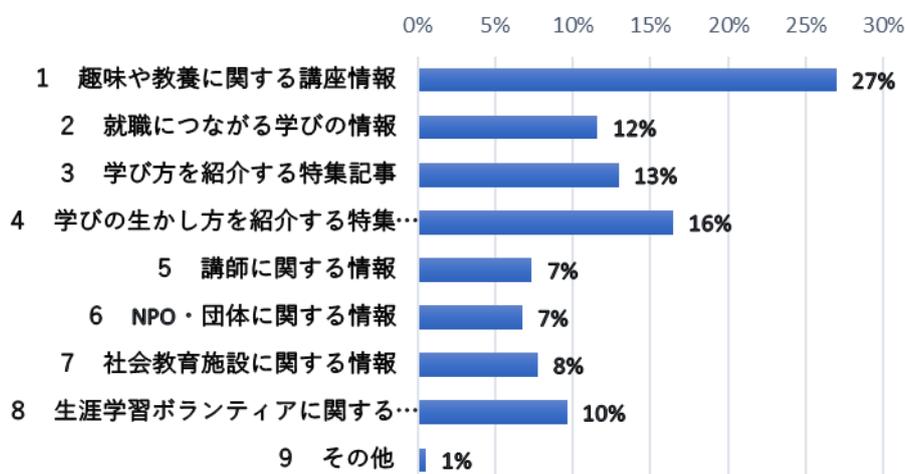
○「5 その他」の記述

- ・千葉県生涯学習の場所は船橋市から遠く不便です。情報も伝わらない。

Q18 千葉県生涯学習情報提供システム「ちばりすネット」には、どのような情報が掲載されているといいですか。(複数回答可)

※ちばりすネット・・・千葉県内の講座イベント情報、講師情報、団体サークル情報、施設情報を収集・公開している、千葉県が運営する生涯学習のポータルサイト。

【回答数：1112】

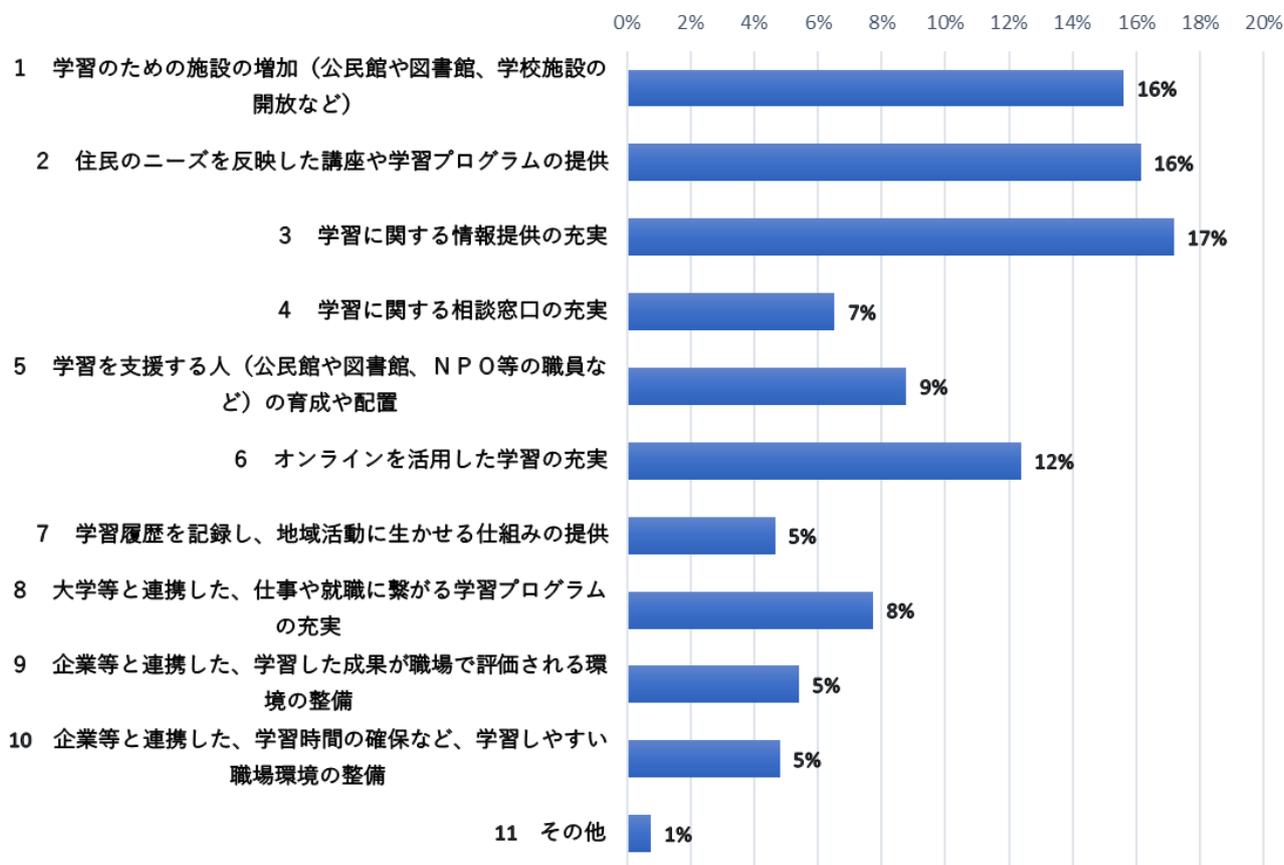


○「9 その他」の記述

- ・学習の内容が活かして未経験者でも業務委託で働ける場所の明示。
- ・講座に参加するハードルを下げる工夫(どんな講師か、過去にはどんな参加者がいたのか、どんな雰囲気か等の情報公開をする、等)を希望します。
- ・今社会人である人が学んでいないパソコンや金融教育。
- ・仕事や労働者の権利へ生かせるもの。
- ・社会教育士、社会教育主事として活躍されている方々。
- ・そもそも存在を知らなかったので何が適当か分かりかねる。

Q19 県民の生涯学習をもっと盛んにしていくために、県や市町村はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答可)

【回答数：1332】



○「11 その他」の記述

- ・公民館が地域住民の情報・交流拠点としての役割を担っているのであれば、行政と協力し、災害発生時の対策や日頃の留意事項を平易な方法で情報提供して頂けるとよいと思います（年一回の避難訓練などもよいかもしれません）。また、毎日のように行方不明者が発生しており、今後の高齢世代等の増加も考えますと、住民同士の助け合いや情報共有が自然に行われるまちづくりが大切だと思います。
- ・生涯教育に携わる職員の身分保証。
- ・料金への補助。
- ・講座に参加するハードルを下げる工夫(どんな講師か、過去にはどんな参加者がいたのか、どんな雰囲気か等の情報公開をする、等)を希望します。難しいことはわかっていますが、子育て中でも学べるように子どもを預かってくれたらと思うこともあります。
- ・新聞や折り込みチラシ等での継続した告知活動。
- ・地域を超えた活動。他県や海外との交流や派遣など。
- ・費用の補助。
- ・学習カリキュラムを増やしてほしい。
- ・不登校で学校教育が受けられない学生の教育の場がほしい。家でもできる単なる勉強ではな

く、探求学習など多様な学びの経験ができる時間や場所があると良い。

- ・ Q19 を拝見すると、現在でも充実しているとの感想を持った。Q6 で回答したように、おんぶにだっこの必要はないと考える。
- ・ 学習の場所を県内平等に開く。
- ・ 生涯学習の講座を、民間の施設（子育て支援施設など）と共催する。
- ・ YouTube における動画配信。
- ・ 情報は圧倒的に足りないと思う本当に何かを学びたい人がかなり情報を掘り下げた先に公的機関の学びの場が出てくる印象。また、見つけ出して参加したいと思っても参加出来る人数や日程が少ない印象も受けます。
- ・ 身近な媒体への情報開示が良い。例えば船橋市のフリーペーパー紙、「MYふな」や、ネット検索や YouTube など。

### 3 考察

調査結果について、「千葉県生涯学習推進方針」の、「多様な学習機会の充実」「学習に関する情報提供・相談の充実」「学習成果を社会に生かす仕組みづくり」「多様な主体との連携・協働の推進」の4つの柱に分けて考えました。

#### (1) 「多様な学習機会の充実」・「多様な主体との連携・協働の推進」

・「どのような場所で生涯学習を行ったか、今後行いたいのか」の回答結果では、「インターネット」が多く、当所主催の講座イベントの開催方法に関して、オンラインでの開催及びオンラインと対面のハイブリット型の開催に努めます。また、他の場所での学習では、企業や大学等で学んでいる実態は少なく、学習機会の充実を目指し民間との連携、協働を継続します。公民館や図書館など公共施設での学習機会の期待は高く市町村との講座イベントについて連携、協働も更に強化を図ります。

Q1. Q8

・「学習の内容」については、「趣味や教養、健康、生活に役立つ内容」が6割と多いが、「仕事や就職に役立つ内容」は3割弱と少ない。今後、「リカレント教育」の推進を図ります。 Q2. Q3

・「地域や社会での活動に役立つ学習の参加」も少なく、学んだことの生かし方に関して、「趣味、生きがいとして自分の生活に生かした」との回答は3割弱あったが、それを「公民館等の講座の運営に参加」や「グループまたはサークルを作って生かした」という回答は少なく社会教育人材の育成につながる学習機会の提供が課題と考えます。 Q2. Q3. Q9

・当所は県の生涯学習に関してセンター的な役割を担っており、今後も県民への情報提供や市町村・大学・企業等との協働等を行い更に連携を深め、県民の生涯学習推進に努めます。 Q19

#### (2) 「学習に関する情報提供・相談の充実」

・5割の方が「学んだことを生かす段階にない」あるいは「学んだことの生かし方が分からない」とあります。相談内容についても「学んだことを生かせる場の紹介」に関して3割弱の回答があり、学びの相談窓口の役割の一つと考えます。また、講座の紹介の期待が高く、今後も情報提供システム（ちばりすネット）を活用した多様な学習情報の提供を行います。 Q4. Q6

・「生涯学習に関して相談する相手や場所」として、「当所を含めた公的機関」との回答は少ない。そして、「生涯学習に関して困っていることがなく、相談することがない」との回答が多くあり、公的機関で学習相談をするイメージや相談するメリットに関しての計画的な広報が必要と考えます。「学びの総合窓口」の広報を行い認知が広がることは生涯学習推進につながると考えます。

Q4. Q5

・「学びに関しての相談方法」として「メール」「SNS」「チャットボット」で5割以上の回答があり、「対面」「電話」での相談以外の充実も図ります。 Q7

・「仕事や就職等につながる学びについての相談を受けたくない理由」について「自分には必要がな

い」との回答が6割弱ある。記述での回答には、「高齢になるので、これから就職は考えられない」「仕事を早期退職したので、仕事や就職のためではなく、生活を充実させるための学習やボランティアを考えています」とあります。「地域活動につながる学び」と「職業につながる学び」に関して整理して「学びの総合窓口」の運営を行います。 Q15. Q16

- ・「千葉県による生涯学習推進のための様々な取組み」についての県民の認知度は低く、いくつかの取組みを提示しての質問にも「知らなかった」との回答が8割であった。当所の生涯学習情報提供システム「ちばりすネット」についても1割に満たない認知度であった。しかし、「生涯学習推進のために力を入れるべきこと」という問いには、「学習に関する情報提供の充実」が多く、「学びの総合窓口」のツールとして「ちばりすネット」が認知され活用できるよう広報しなければと考えます。 Q17. Q19

- ・「ちばりすネット」の内容については、「趣味や教養に関する講座情報」が3割弱と多く、今後も「地域活動につながる学び」の充実を図っていきます。他に力を入れるべきことに、「ニーズを反映した講座や学習プログラムの提供」とあり、今回のアンケート結果に反映されたニーズの高い講座イベントを企画、運営します。 Q18. Q19

### (3) 「学習成果を社会に生かす仕組みづくり」

- ・「リカレント教育」という言葉は「わからない」という回答が6割強あり、「リカレント教育の学習経験がない」との回答が8割ある。また、今年度実施されている「リカレント講座」についても9割が知らなかったとある。前述したとおり学習内容について、「仕事や就職に役立つ学習機会」は3割弱と少ない。「リカレント教育」については、先ず、「リカレント教育」がどのようなものであるかの理解を目的とした広報活動、充実した情報提供のための情報収集が重要と考えます。 Q2. Q11. Q12. Q14

- ・「仕事や就職等につながる学びについての相談を受けてみたい」との回答が5割「リカレント教育を受けたい」との回答は6割あった。どの業種の学習に興味があるか聞くと「教育、学習支援」「医療、福祉」「学術研究、専門・技術サービス」との回答が多くあった。相談体制の整備、講座イベントの企画など、今後の「リカレント教育」の推進の参考にします。 Q10. Q13. Q15. Q16

【参考資料：調査票】

Q1 この1年間に、どのような場所や形態で生涯学習をしたことがありますか。(複数選択可)

1. インターネット
2. 職場の研修
3. 書籍、テレビやラジオなど
4. 公民館・図書館・博物館などの公共施設が行う講座・教室など
5. 県・市町村が主催する講座や学級、研修会
6. 企業やNPO等が実施する講座
7. カルチャーセンターなど民間の講座・教室
8. 通信教育
9. 地域や職場のグループ・サークル活動
10. 大学などが開催する公開講座や聴講
11. 大学や専修学校などでの科目等履修、社会人入学など
12. 公的機関が実施する職業訓練
13. その他 ( )
14. 学習をしたことがない

Q2 Q1で(1～13)と答えた方は、この1年間に行った生涯学習はどれですか。(複数回答可)

1. 自分の人生を豊かにするための学習(趣味や教養的なもの)
2. 仕事や就職の上で役立つ学習(ビジネス基礎や様々な業種の基礎的知識)
3. 仕事や就職の上で役立つ学習(専門的知識や実践的技術)
4. 家庭や日常の生活に役立つ学習(子育て、料理、裁縫など)
5. 健康の維持・増進に役立つ学習(健康法、医学、栄養、ジョギングなど)
6. 地域や社会での活動に役立つ学習(学習の指導者やボランティアなど)
7. その他 ( )

Q3 Q1で(1～13)と答えた方は、これまでの生涯学習を通じて学んだ知識や技能、経験を、この1年間でどのように生かしましたか。(複数回答可)

1. 趣味、生きがいとして自分の生活に生かした
2. 現在の仕事に生かした・新しい仕事についた
3. より良い家庭や日常の生活を送るために役立てた
4. 健康的な生活を送るために役立てた
5. 地域での活動に生かした
6. 公民館等の講座や教室の企画・運営に参加した
7. 得意な分野の指導者や講師になった
8. 学んだことを生かしてグループやサークルをつくった
9. その他 ( )
10. 特に生かしていない



Q8 今後、どのような場所や形態で生涯学習をしたいですか。(複数選択可)

1. インターネット
2. 職場の研修
3. 書籍、テレビやラジオなど
4. 公民館・図書館・博物館などの公共施設が行う講座・教室など
5. 県・市町村が主催する講座や学級、研修会
6. 企業やNPO等が実施する講座
7. カルチャーセンターなど民間の講座・教室
8. 通信教育
9. 地域や職場のグループ・サークル活動
10. 大学などが開催する公開講座や聴講
11. 大学や専修学校などでの科目等履修、社会人入学など
12. 公的機関が実施する職業訓練
13. その他 ( )
14. 学習をしたいとは思わない

Q9 今後、これまでの生涯学習を通じて学んだ知識や技能、経験を、どのように生かしたいですか

1. 趣味、生きがいとして自分の生活に生かしたい
2. 現在の仕事に生かしたい・新しい仕事に就きたい
3. より良い家庭生活を送るために役立てた
4. 健康的な生活を送るために役立てたい
5. 地域での活動に生かしたい
6. 公民館等の講座や教室の企画・運営に参加したい
7. 得意な分野の指導者や講師になりたい
8. 学んだことを生かしてグループやサークルをつくりたい
9. その他 ( )
10. 特に生かしたいと思わない

Q10 Q9で「2. 現在の仕事に生かしたい・新しい仕事に就きたい」と答えた方は、どの業種に関する学習に興味がありますか。(複数回答可)

1. 農業
2. 林業
3. 漁業
4. 鉱業、採石業、砂利採取業
5. 建設業
6. 製造業
7. 電気・ガス・熱供給・水道業
8. 情報通信業

9. 運輸業、郵便業
10. 卸売業、小売業
11. 不動産業、物品賃貸業
12. 学術研究、専門・技術サービス業
13. 宿泊業、飲食サービス業
14. 生活関連サービス業、娯楽業
15. 教育、学習支援業
16. 医療、福祉
17. 複合サービス事業
18. サービス業（他に分類されないもの）
19. 公務（他に分類されるものを除く）
20. 分類不能の産業

Q11 「リカレント教育」という言葉を知っていますか。

※リカレント教育・・・学校教育からいったん離れて社会に出た後も、それぞれの人の必要なタイミングで再び教育を受け、仕事と学習を繰り返すこと。ここでは、「職業につながる学び」とします。

1. よく知っている
2. なんとなく知っている
3. 聞いたことはあるがよくわからない
4. 知らない

Q12 「リカレント教育」として、講座・研修などを受けたことがありますか。

1. 受けたことがある
2. 受けたことはない
3. わからない

Q13 「リカレント教育」の講座・研修などを受けたいですか。

1. 受けたい
2. 受けたいが、どうすればよいかわからない
3. 受けたいが、時間がない
4. 受けたくない
5. わからない

Q14 県教育委員会では、社会に求められる産業人材の育成につなげるため、生涯にわたり必要な知識を学び直すためのリカレント講座（社会人のための学び直しセミナー＆個別学習相談会）を、令和5年7月に開催しましたが、知っていましたか。（複数回答可）

1. 知っていた（千葉県のHP・SNS等の広報で知った）

2. 知っていた (チラシを見た)
3. 知っていた (民間の転職サイトなどで知った)
4. 知らなかった

Q15 仕事や就職等につながる学びについて、専門家に個別の学習相談(無料)を受けてみたいですか。

1. 受けてみたい
2. 受けてみたいが、どうすればよいかわからない
3. 受けてみたいが、時間がない
4. 受けたくない
5. わからない

Q16 Q15 で「4. 受けたくない」を回答した方に伺います。その理由はなんですか。(複数回答可)

1. 興味がない
2. 時間がない
3. 自分には必要がない
4. その他 ( )

Q17 県教育委員会では、県民の生涯学習を盛んにするための施策を展開しています。

次の取組のうち、知っているものを回答してください。(複数回答可)

1. 千葉県生涯学習情報提供システム「ちばりすネット」
2. 講座の学習計画・学習記録が書き込める「ちばネット手帳」
3. 社会教育士の育成
4. 「ちば学びサポーター」養成講座
5. その他 ( )
6. 知らなかった

Q18 千葉県生涯学習情報提供システム「ちばりすネット」には、どのような情報が掲載されていると  
いいですか。(複数回答可)

※ちばりすネット・・・千葉県内の講座イベント情報、講師情報、団体サークル情報、施設情報  
を収集・公開している、千葉県が運営する生涯学習のポータルサイト。

1. 趣味や教養に関する講座情報
2. 就職につながる学びの情報
3. 学び方を紹介する特集記事
4. 学びの生かし方を紹介する特集記事
5. 講師に関する情報
6. NPO・団体に関する情報
7. 社会教育施設に関する情報
8. 生涯学習ボランティアに関する情報

9. その他（ ）

Q19 県民の生涯学習をもっと盛んにしていくために、県や市町村はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答可)

1. 学習のための施設の増加（公民館や図書館、学校施設の開放など）
2. 住民のニーズを反映した講座や学習プログラムの提供
3. 学習に関する情報提供の充実
4. 学習に関する相談窓口の充実
5. 学習を支援する人（公民館や図書館、NPO等の職員など）の育成や配置
6. オンラインを活用した学習の充実
7. 学習履歴を記録し、地域活動に生かせる仕組みの提供
8. 大学等と連携した、仕事や就職に繋がる学習プログラムの充実
9. 企業等と連携した、学習した成果が職場で評価される環境の整備
10. 企業等と連携した、学習時間の確保など、学習しやすい職場環境の整備
11. その他（ ）